

# 平成26年度 事業報告書

自：平成26年4月1日 至：平成27年3月31日

## I 公益目的事業

**公益目的事業** 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業  
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

### 1 普及啓発吟詠発表会

#### (1) 普及推進吟詠発表会

「普及推進吟詠発表会」を3地区3会場で下記のとおり開催した。

- ① 平成26年 6月11日(水) 東北地区 秋田市民交流プラザ・アルヴェ (秋田市)
- ② 平成26年10月25日(土) 神静地区 関東学院大学金沢八景キャンパス (横浜市)
- ③ 平成26年11月16日(日) 中国四国地区 みなと幸朋苑ナマステホール (境港市)

#### (2) 島嶼普及吟詠活動

「島嶼普及吟詠活動」を平成26年9月28日(日)、佐渡のアミューズメント佐渡に於いて開催した。

#### (3) 吟道修学院研究会

「吟道修学院研究会」を毎月1回、岳風会館・吟道研修センターに於いて開催し、所属認可団体・取得段伝位に関係なく、会員以外の不特定多数の方も含め多くの方が参加した。

### 2 少年少女吟詠大会(青少年吟詠大会)・尚歯会吟詠大会(高齢者吟詠大会)

#### (1) 少年少女吟詠大会(青少年吟詠大会)

「少年少女吟詠大会」を2地区2会場で下記のとおり開催した。

- ① 平成26年 6月 8日(日) 神静地区 金沢公会堂 (横浜)
- ② 平成26年 7月21日(月) 長野地区 キッセイ文化ホール (松本)

#### (2) 尚歯会全国吟道大会・尚歯会吟詠大会(高齢者吟詠大会)

70歳以上の高齢者を対象とした大会を下記のとおり開催した。

- ① 「第3回尚歯会全国吟道大会」平成27年3月25日(水)、東京の日本教育会館に於いて、出吟者477名と会員以外の方も含め多くの鑑賞者が参加して開催した。
- ② 「尚歯会吟詠大会」7地域で開催した。

ア	平成26年	7月13日(日)	北海道	道新ホール
イ	平成26年	8月 9日(土)	愛知	名古屋市北文化小劇場
ウ	平成26年	8月19日(土)	東京	東部フレンドホール
エ	平成26年	9月10日(水)	沖縄	パレット市民劇場
オ	平成26年	9月25日(木)	神奈川県	神奈川県公会堂
カ	平成26年	10月25日(木)	埼玉県	春日部市商工振興センター
キ	平成27年	3月28日(火)	長野	飯田市伊賀良公民館

### 3 吟詠の指導者・継承者育成事業(師範位を認定する審査・研修事業)

#### (1) 準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体の資格審査申請に基づき認定証（許證）を交付した。

(2) 「師範審査・研修講座」

「師範審査・研修講座」を下記のとおり7会場で開催し、全国から受審者が参加して実施した。  
なお、資格審査合格者208名に認定証（許證）を交付した。

- ① 平成26年 8月24日（日）札幌会場 札幌市教育文化会館
- ② 平成26年10月12日（日）仙台会場 仙台市情報・産業プラザ
- ③ 平成26年10月25日（土）東京会場 岳風会館・吟道研修センター
- ④ 平成26年11月29日（土）大阪会場 大阪リバーサイドホテル
- ⑤ 平成27年 1月31日（土）沖縄会場 ホテルサンパレス球陽館
- ⑥ 平成27年 2月 7日（土）東京会場 岳風会館 吟道研修センター
- ⑦ 平成27年 2月 7日（土）福岡会場 林英ビル

(3) 「正師範審査・研修講座」

「正師範審査・研修講座」を下記のとおり2会場で開催した。  
なお、資格審査合格者に認定証（許證）を交付した。

- ① 平成26年8月23日（土）大阪会場 大阪リバーサイドホテル（受審者17名）
- ② 平成26年8月30日（土）東京会場 岳風会館 吟道研修センター（受審者29名）

(4) 「上席師範審査・研修講座」

「上席師範審査・研修講座」を平成26年6月30日（月）、長野県諏訪市の木村岳風記念館・吟道研修センターにおいて開催した。

なお、資格審査合格者14名に認定証（許證）を授与した。

#### 4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本の作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）、（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『俳諧歌撰』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）、（下）』などを作成し、希望者に頒布した。

#### 5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、認可団体・認承団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付した（配付総数71万部）。

#### 6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第60回夏季吟道大学講座」を平成26年7月26日（土）～27日（日）、東京の日本教育会館に於いて、全国から吟士697名が参加して開催した。

なお、外部講師4名と内部講師6名の計10名で実施した。

(2) 地区吟道講座

① 「地区吟道講座」を全国10地区13会場（北海道2会場・東北・関東・神静・長野・中部・北陸・近畿・中国四国・九州3会場）で開催し、7,037名が参加した。

なお、講師は「夏季吟道大学講座」講師と各地区講師の計5名で実施した。

- |   |                |        |                      |
|---|----------------|--------|----------------------|
| ア | 平成26年 9月13日（土） | 九州地区   | 別府ビーコンプラザ（大分）        |
| イ | 平成26年 9月15日（祝） | 北陸地区   | アイザック小杉文化ホールラポール（富山） |
| ウ | 平成26年10月 5日（日） | 中部地区   | 津島市文化会館（愛知）          |
| エ | 平成26年10月12日（日） | 北海道地区  | 北見芸術文化ホール（北海道）       |
| オ | 平成26年10月12日（日） | 九州地区   | アザレアホール須恵（福岡）        |
| カ | 平成26年11月16日（日） | 関東地区   | 日本教育会館（東京）           |
| キ | 平成26年11月23日（日） | 長野地区   | 更埴文化会館あんずホール（長野）     |
| ク | 平成26年11月23日（日） | 中国四国地区 | 広島安芸区民センター（広島）       |
| ケ | 平成26年11月24日（祝） | 東北地区   | 山形市民会館（山形）           |
| コ | 平成26年11月24日（祝） | 神静地区   | 三島市民文化会館（静岡）         |

サ 平成26年12月13日(土) 近畿地区 大阪国際交流センター(大阪)  
シ 平成27年2月1日(日) 九州地区 沖縄教育福祉会館(沖縄)  
ス 平成27年2月15日(日) 北海道地区 道新ホール(札幌)

② 「地区吟道講座講師研修会」を平成26年4月17日(木)～18日(金) 岳風会館・吟道研修センターにおいて開催した。

(3) 特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

「俳諧歌吟詠講座」を平成26年9月2日(火)～4日(木)、木村岳風記念館・吟道研修センターで開催した。

## 7 中国移動教室・国内移動教室及び文化団体との交流

(1) 中国移動教室

① 「2014年春季中国移動教室」として、平成26年3月31日(月)～4月3日(木)まで3泊4日で『蘇東坡終焉の地「常州」と春の江南水郷を訪ねる旅』と題し、参加者40名で実施した。

② 「2014年秋季中国移動教室」として、平成26年9月8日(月)～12日(金)まで4泊5日で『秋風楼・鶴鶴楼に登る黄河流域の旅』と題し、参加者35名で実施した。

(2) 国内移動教室

「第5回国内移動教室」を平成26年11月12日(水)～13日(木)1泊2日で日光を訪ね、『おくの細道～芭蕉の足跡を辿る～日光篇』を題材とし、参加者54名で実施した。

(3) 島嶼支援活動

「第4回島嶼普及活動」を平成26年9月27日(土)～29日(月)2泊3日で、佐渡の史跡を訪ね、『普及吟詠と佐渡の史跡を訪ねる旅』と題し、参加者29名で実施した。

なお、現地で開催する「島嶼普及吟詠活動」に参加した。

(4) 国外支援活動

ブラジル支部及び台湾支部と綿密な連絡をとり、吟詠指導及び教材提供などの支援を行った。

(5) 文化団体との交流

① 平成26年8月23日(土)～24日(日)、埼玉県の川口総合文化センターで開催された公益社団法人 日本吟道学院主催の「平成26年度日本吟道夏季大学講座」に当学院から講師派遣をはじめ代表者が参加した。

② 平成27年2月22日(日)、広島県の竹原市民館で開催された一般財団法人全日本吟詠剣詩舞道連合会主催の「第4回全日本吟詠剣詩舞道大会」に当学院から出吟者が参加した。

③ その他、「詩吟朗詠錦城流」、「暁明流剣詩舞道治暁館」等、各文化団体との交流を図った。

## 8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を下記のとおり10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」合吟の競吟及び「全国優秀吟者吟道大会」出吟者の地区予選を行った。

① 平成26年4月27日(日) 北陸地区 アイザック小杉ホールラポール(富山)

② 平成26年4月29日(祝) 長野地区 茅野市民館(長野)

③ 平成26年5月6日(祝) 東北地区 仙台市青年文化センター(宮城)

④ 平成26年5月11日(日) 北海道地区 道新ホール(札幌)

⑤ 平成26年5月11日(日) 九州地区 アザレアホール須恵(福岡)

⑥ 平成26年5月22日(木) 神静地区 小田原市民会館(神奈川)

⑦ 平成26年5月25日(日) 関東地区 日本教育会館(東京)

⑧ 平成26年5月25日(日) 中国四国地区 岡山県総合福祉会館(岡山)

⑨ 平成26年6月1日(日) 近畿地区 長原会館(大阪)

⑩ 平成26年6月15日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を下記のとおり3地区4会場で開催した。

① 平成26年6月15日(日) 神静地区 三島市民文化会館

② 平成26年12月14日(日) 九州地区 日向市中央公民館

③ 平成27年 2月 1日(日)九州地区 須恵町文化会館アザレアホール須恵

④ 平成27年 2月15日(日)関東地区 日本教育会館

## 9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会、全国俳諧歌吟詠大会、現代名吟鑑賞会、全国青年吟道大会

### (1) 全国吟道大会

「第125回全国吟道大会」を平成26年10月19日(日)、静岡県三島市民文化会館に於いて出吟者1,114名、一般入場者319名が参加して開催した。

### (2) 全国優秀吟者吟道大会

「第21回全国優秀吟者吟道大会」を平成26年9月21日(日)、東京のメルパルクホールに於いて出吟者88名と一般入場者1,132名が参加して開催した。

なお、漢詩の部・和歌の部それぞれ上位5名に「吟詠十傑」、次点者各5名に「秀逸」として賞状と副賞を授与した。

### (3) 全国認可団体代表吟道大会

「第6回全国認可団体代表吟道大会」を平成27年3月15日(日)、東京の日経ホールに於いて全国の認可団体から選出された吟者137名と一般入場者470名が参加して開催し、『吟道』に掲載中の「日本漢詩の旅」より特別番組を構成し発表、大会のライブDVDを作製した。

### (4) 全国俳諧歌吟詠大会

「第2回全国俳諧歌吟詠大会」を平成26年7月2日(水)、長野県の諏訪市文化センターに於いて各地区から選出された吟者631名と一般入場者187名が参加して開催した。

### (5) 現代名吟鑑賞会

「現代名吟鑑賞会」を平成26年11月1日(土)、東京の日本教育会館に於いて開催し、出吟者10名と一般入場者405名が参加して開催した。

なお、出吟者4名に「現代名吟家 認定証」を贈った。

### (6) 全国青年吟道大会

「第2回全国青年吟道大会」を平成26年8月9日(土)、東京の小岩アーバンプラザに於いて16歳以上35歳以下の青年63名、青年OB33名及び一般入場者146名が参加して開催した。

## 10 木村岳風生家・木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開及び管理

(1) 木村岳風生家・木村岳風記念館の一般公開を行った。

(2) 木村岳風生家・木村岳風記念館の展示品の収集・展示・保管を行い、来館者に展示品の説明を行った。

(3) 木村岳風生家・木村岳風記念館 吟道研修センター・木村岳風の墓所の維持管理を行った。

## 11 その他公益目的事業達成の為の事業

### (1) 定時社員総会

「第5回定時社員総会」を平成26年6月7日(土)、東京の日本教育会館に於いて開催し、下記について審議し、可決承認された。

①平成25年度 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録承認の件

②理事及び監事の報酬等の総額承認の件

③理事17名選任の件

④監事2名選任の件

### (2) 平成26年度元老・相談役・参与会議

「平成26年度元老・相談役・参与会議」を平成27年3月13日(金)、東京の日本教育会館に於いて開催し、「平成27年度事業計画及び収支予算の件」及び「会館建設進捗状況」について説明し、質疑応答を行った。

### (3) 特別維持委員会会議

「第3回特別維持委員会会議」を平成27年3月14日(土)、東京の日本教育会館に於いて開催し、「平成27年度の事業計画及び収支予算の件」及び「会館建設進捗状況」について説明し、質疑応答を行った。

#### (4) 認可団体連絡会議

「平成26年度認可団体連絡会議」を全国10地区で開催し、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体代表者、特別会員維持会員及び吟士が参加し、「①会館建設進捗状況の報告②平成26年度事業」をテーマに協議すると共に、質疑応答を行った。

- ① 平成26年7月10日(木) 長野地区 木村岳風記念館・吟道研修センター(長野)
- ② 平成26年7月16日(水) 関東地区 日本教育会館(東京)
- ③ 平成26年7月22日(水) 東北地区 仙台市情報産業プラザ(宮城)
- ④ 平成26年7月23日(水) 神静地区 小田原市民会館(神奈川)
- ⑤ 平成26年8月5日(火) 北陸地区 高岡市生涯学習センター(富山)
- ⑥ 平成26年8月6日(水) 北海道地区 かでる2・7(札幌)
- ⑦ 平成26年8月7日(木) 中国四国地区 アークホテル岡山(岡山)
- ⑧ 平成26年8月10日(日) 中部地区 甚目寺町民会館(愛知)
- ⑨ 平成26年8月20日(水) 九州地区 林英ビル(福岡)
- ⑩ 平成26年9月11日(木) 近畿地区 大阪リバーサイドホテル(大阪)

#### (5) 研修会

- ① 「師範研修会」を東京151名、大阪172名が受講して開催した。  
なお、講師は理事長と外部講師の2名で実施した。
- ② 「部員研修会」を平成26年12月20日(土)、岳風会館・吟道研修センターに於いて総本部の常任参事・参事・幹事に「吟道修学院について」説明した(参加者38名)。

#### (6) 認可・認承団体の指導及び新設並びに認可・認承返還の承認

- ① 認可・認承団体の要請に基づき、「定款」及び「定款施行細則並びに諸規程」に則り適切な指導を行った。
- ② 広島岳風会(中国四国地区)の申請に基づき、認承団体として平成26年8月8日付承認した。
- ③ 認可団体の申請に基づき、下記のとおり認可返還を承認した。  
ア 蓼科曉聲岳風会 長野地区 平成26年4月1日 認可返還  
イ 東朋岳風会 関東地区 平成26年4月1日 認可返還  
ウ 秀峰岳風会 神静地区 平成27年3月31日 認可返還

#### (7) 広報活動

ホームページの活用

- ① 学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会などの募集案内などを、広報活動と情報公開の一環として掲載した。アクセス件数約18,607件。
- ② 吟詠を視聴できる「吟詠とは」のコーナーと、機関誌『吟道』に毎月“詩”を掲載している「今月の詩」などを適時更新した。
- ③ 吟詠を学びたい不特定多数の者に、市町村レベルで当学院の認可団体・認承団体の教場を検索できるようホームページに掲載した。

#### (8) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換を行った。

#### (9) 各局・各部・各委員会の活動

公益目的事業を達成する為、各局・各部・各委員会の会議を213回開催した。

#### (10) 教本の質問に関する回答

教本の中身に関する質問は、原則、認可団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は認可団体代表者より質問を書面で受け付け書面で回答した。

#### (11) 吟道会館(仮称)の建設

日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と不特定多数の者への普及啓発活動等を全世界に発信する拠点とする為、また、現在失われつつある吟詠関連の貴重な資料を後世に残す為、公益性を重視した多目的見地から学院の50年後を見据えた用途を考慮し、耐震構造を備えた、祖宗範 木村岳風先生の夢でもある「吟道会館(仮称)」の建設を推進し、平成27年2月25日、会館建設用地を取得した(所在:東京都台東区根岸三丁目3番地4号)。

また、会館建設に係る寄付を全認可団体及び会員並びに吟友に依頼した。

(12) その他

- ① 吟詠の関係資料・書籍の購入・整理・保管・管理を行った。
- ② 「日本詩吟学院八十年史」作成の為に資料収集・整理・保管・管理を行った。
- ③ 木村岳風生家及び木村岳風記念館 吟道研修センターの資料の整理・保管・管理を行った。
- ④ 岳風会館 吟道研修センターの各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行った。
- ⑤ 会員登録用のソフトと会員データを希望する認可団体に配付した。
- ⑥ 学校単位で活動している少年少女会員の年会費を、認可団体代表者の申請に基づき、理事会の承認を得て免除した。
- ⑦ 東日本大震災被災会員に対し、認可団体代表者の申請に基づき、理事会の承認を得て普通会员の年会費を免除した。
- ⑧ その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

## Ⅱ 収 益 事 業

### 収益事業 公益目的事業を支える為の補助事業

#### 収益事業 1 吟詠カセットテープ・CD・DVD及び吟詠啓発物品の作成頒布事業

- 1 『吟詠教本俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』等の吟詠CD・カセットテープなど、各種教材及び副教材を作成して、希望者に頒布した。
- 2 吟詠の副教材として下記の頒布品を希望者に頒布した。
  - (1) 書 籍 『岳風伝』、『詩歌作者事典』など。
  - (2) DVD・CD 吟聖木村岳風DVD・松井岳洋愛吟韻読抄・全国認可団体代表吟道大会ライブDVD・構成吟「吟詠戦国の三英傑」「風雅の誠」十傑等吟詠集(2)(3)CD・「俳諧歌撰CD第1集」・「俳諧歌撰CD第2集」・「現代名吟選CD 第1集」・現代名吟鑑賞会ライブDVDなど。
  - (3) 副 教 材 漢詩カード・和歌・俳句カード・学院証・新田興先生直筆複製色紙・冠稱バッジ・会員バッジ・吟マーク入り賞状用紙・吟道バインダー・ネクタイ・扇子・手拭い・吟マーク入りハンカチ・名刺台紙・学院メモ用紙・あぶらとり紙など。

#### 収益事業 2 吟詠の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

- 1 認定証(許證)発行  
認可団体の資格審査申請に基づき、昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査を行い、級段伝位21, 682名、師範位860名に合格者に認定証(許證)を交付した。

## Ⅲ その他の事業

#### その他の事業 1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀(岳風忌)事業

- 1 岳風忌  
「木村岳風先生63回法要及び宣子夫人49回忌の法要並びに日本詩吟学院会員功労物故者合祀祭」

を、平成26年7月1日（火）、長野県諏訪市地藏寺に於いて行い、233名が参列、会員功労物故者122柱の合祀を行った。

## その他の事業2 吟詠関係の功労者等の顕彰事業

### 1 顕彰

#### (1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に冠稱（宗佑28名・宗匠20名・宗帥・22名）を贈った。

#### (2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部103名・ボランティアの部33名・寿百歳の部3名・寿九十歳の部171名・会員増強の部7名）の表彰を行った。

#### (3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生56名を表彰した。

#### (4) 死亡追贈

吟道発展の為の功績が特に顕著と認められる六段位以上の有資格者が死亡した場合、認可団体の申請により審議の上1つ上の段伝位を贈った。

### 2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。